

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)

【公開番号】特開 2010-115361 (P2010-115361A)  
 【公開日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-021  
 【出願番号】特願 2008-290966 (P2008-290966)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動口と、

演出を表示可能な演出表示部と、

開状態と閉状態を採り得る可変入賞口と、

始動口に遊技球が入球した場合に乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得の際に演出開始条件を充足していない場合、前記演出開始条件を充足するまで前記乱数を一時記憶する保留手段と、

前記演出開始条件を充足した場合、前記乱数から導かれる演出を演出表示部上で実行する演出表示制御手段と、

乱数が特別遊技の移行契機となる当り乱数の場合、可変入賞口を前記閉状態から前記開状態にする特別遊技の実行制御を行う特別遊技制御手段と、

保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数の内容を事前に把握する保留先読み手段と、

保留先読み手段により事前に把握された、保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数の内容に基づき、保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数中に当り乱数が存在する又はその可能性があることを報知又は示唆する予告を実行し得る予告制御手段と

を有するパチンコ遊技機であって、

複数種の予告内容が存在し、予告内容によって当り乱数が存在する確率が異なるよう構成されたパチンコ遊技機において、

保留先読み手段は、特別遊技中の複数タイミングで、各タイミング時点で保留手段内に一時記憶されている前記乱数の内容を事前に把握し、

予告制御手段は、保留先読み手段による、保留手段内に一時記憶されている前記乱数の内容の事前把握に基づき、保留手段内に一時記憶されている前記乱数中に当り乱数が存在する又はその可能性があることを報知又は示唆する予告実行の可否及び／又は予告内容を決定し、ここで、前記複数のタイミングの内のあるタイミングでの予告実行の可否及び／又は予告内容の決定をするに際し、前記複数のタイミングの内、当該あるタイミングより前のタイミングから当該あるタイミングに至るまでの間に保留手段に前記乱数が新たに一時記憶されていた場合には、新たに一時記憶された前記乱数の内容を踏まえ、予告実行

の可否及び／又は予告内容を決定することにより、特別遊技中における保留手段に一時記憶されている前記乱数の内容の推移を予告に反映させることが可能に構成されていることを特徴とするパチンコ遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明（１）は、遊技球が入球可能な始動口と、  
演出を表示可能な演出表示部と、  
開状態と閉状態を採り得る可変入賞口と、  
始動口に遊技球が入球した場合に乱数を取得する乱数取得手段と、  
乱数取得の際に演出開始条件を充足していない場合、前記演出開始条件を充足するまで前記乱数を一時記憶する保留手段と、  
前記演出開始条件を充足した場合、前記乱数から導かれる演出を演出表示部上で実行する演出表示制御手段と、  
乱数が特別遊技の移行契機となる当り乱数の場合、可変入賞口を前記閉状態から前記開状態にする特別遊技の実行制御を行う特別遊技制御手段と、  
保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数の内容を事前に把握する保留先読み手段と、  
保留先読み手段により事前に把握された、保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数の内容に基づき、保留手段内に一時記憶されている演出開始が許可されていない前記乱数中に当り乱数が存在する又はその可能性があることを報知又は示唆する予告を実行し得る予告制御手段と  
を有するパチンコ遊技機であって、  
複数種の予告内容が存在し、予告内容によって当り乱数が存在する確率が異なるよう構成されたパチンコ遊技機において、  
保留先読み手段は、特別遊技中の複数タイミングで、各タイミング時点で保留手段内に一時記憶されている前記乱数の内容を事前に把握し、  
予告制御手段は、保留先読み手段による、保留手段内に一時記憶されている前記乱数の内容の事前把握に基づき、保留手段内に一時記憶されている前記乱数中に当り乱数が存在する又はその可能性があることを報知又は示唆する予告実行の可否及び／又は予告内容を決定し、ここで、前記複数のタイミングの内のあるタイミングでの予告実行の可否及び／又は予告内容の決定をするに際し、前記複数のタイミングの内、当該あるタイミングより前のタイミングから当該あるタイミングに至るまでの間に保留手段に前記乱数が新たに一時記憶されていた場合には、新たに一時記憶された前記乱数の内容を踏まえ、予告実行の可否及び／又は予告内容を決定することにより、特別遊技中における保留手段に一時記憶されている前記乱数の内容の推移を予告に反映させることが可能に構成されていることを特徴とするパチンコ遊技機である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明(1)によれば、特別遊技中における保留情報の推移を予告に反映させることが可能になるという効果を奏する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】  
【 0 0 1 5 】